

市報

COMMUNICATION PAPER YAMAGUCHI

主な内容

本号は16頁です

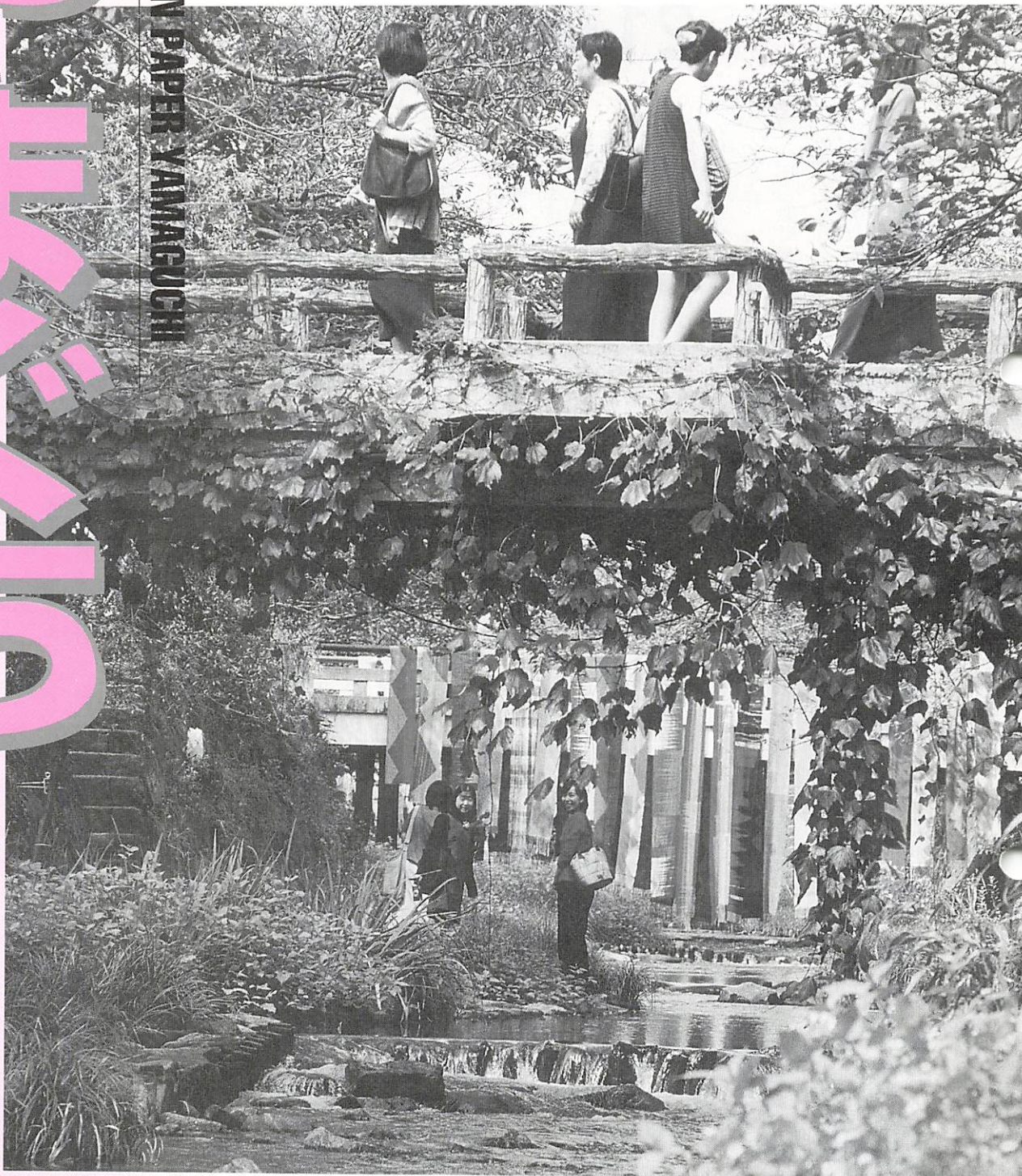
- 平成9年第5回市議会定例会
- 16地区めぐり⑦「湯田」
- 佐山ハビテーション分譲開始

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況《9月》

- 発生件数 55 (累計 636 / 前年比+136)
- 死亡者 0 (累計 6 / 前年比 +3)
- 負傷者 67 (累計 779 / 前年比+204)

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社



アートふる、ふれあいもいっぱい

さわやかな風がどこからかキンモクセイの香りを運び、一の坂川や豎小路周辺を歩く人たちには笑顔や楽しい会話があふれています。10月4・5日の『アートふる山口』は地域の人と一体になったイベントで、今年も約60か所の民家、商店、公共施設などが『小さな美術館』になりました。ボランティアガイドもアートふるに会場のご案内。一の坂川の橋には『さをり織』の作品もかけられ、一足早い紅葉の絵模様を川面に写していました。

10/15
1997 年No.1206

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成9年10月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



138,210人
+1,019人



66,130人
+425人



72,080人
+594人



53,821
+880

平成9年第5回市議会定例会

一般会計補正予算など 21議案を可決

平成九年第五回市議会定例会が九月八日開会、二十五日までの日程で開催されました。

可決された議案は予算に関するもの五件、条例に関するもの三件、事件議決が八件、報告一件、議員提出議案四件の合わせて二十一件です。

予算

一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に二億四千三百八十余万円を追加し、歳入歳出予算の総額を四百十四億一千八百八十余万円としました。
主な追加計上は次の通りです。

歳出

（総務費）

自治宝くじコミュニティ活動補助金に二百五十万円、市税返還金五百五十万円。

（民生費）

老人福祉費三百三十余万円、精神薄弱者福祉費一千二十万円。

（衛生費）

山口鹿野線代替墓地取得等整備費に二千七百三十余万円、じん芥処理費に三百八十万円、減量推進費に八百五十万円、リサイクルプラザ運営費に八十万円。

（農林水産費）

農業費として農業企画振興事

業に一千四百五十万余円、水産業費として海岸保全施設等整備事業に三百万円。

（土木費）

街路事業費に五千七百万円、地積調査事業費九百三十余円、平井市営住宅公共下水切替に係る工事費四千万円。

（教育費）

指定寄付があり、教育振興費に百万円、義務教育施設整備事業として三千六百三十余万円。

（災害復旧費）

林道災害復旧費に一千万円、文教施設災害復旧費に一千万円。

歳入

特定財源として国庫支出金六百二十余万円、県支出金一千六百十万余円、寄付金百万円、諸収入三千六十余万円。また一般財源として財産収入六千五百二十余万円、繰越金九千六十余万円、諸収入三千八百四十余万円を追加計上しました。

自動車運送事業会計補正予算

湯田車庫跡地の交換及び売払い等に伴い、収益的収入に一億七千二百四十余万円、収益的支出に三千八百余万円、資本的収入に四十余万円、資本的支出に二千九百九十余万円を増額しました。

下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二億五千万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ五十九億五千四百四十余万円としました。

駐車場事業

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ八百余万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ五千六十余万円としました。これは駐車場事業基金への追加計上によるものです。

特別林野特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ百二十余万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二千八百四十余万円としました。これは繰越金を基金に積み立てるものです。

条例

○山口市吏員恩給条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例

○山口市営住宅条例の一部を改正する条例

○山口市議会議員及び山口市長の選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

事件議決

○字の区域の変更等について

○住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について

○山口市公共下水道事業補助第三工区汚水管施設工事の請負契約の締結について

○やまぐちリフレッシュパーク整備事業用地の取得について

○やまぐちリフレッシュパーク整備事業グラウンド造成整備工事の請負契約の締結について

○平成八年度山口市自動車運送事業会計決算の認定について

○平成八年度山口市水道事業会計決算の認定について

○教育委員会の委員の任命について

○損害賠償の額を定めることに関する専決処分について

報告

○地方事務官制度の廃止に関する意見書の提出について

○遺伝子組みかえ食品に関する決議について

○臍帯血移植の医療保険適用等に関する意見書の提出について

○稲作経営の安定と米政策の確立に関する意見書の提出について

議員提出議案

山口佐山ハビテーション

いよいよ 分譲開始!!

山口市土地開発公社が造成工事を進めていた住宅団地「山口佐山ハビテーション」が完成し、十月二十五日から分譲開始します。同団地は小郡駅や山口宇部空港にも近いなど交通の便にも恵まれており、山口テクノパークへ立地している企業の方だけでなく一般の方への分譲も行います。

◆申込資格

☆申込者自身が住宅を必要とし、建物引渡し後ただちに入居できる方

☆毎月の公庫返済額に対し、原則として月収が5倍以上あり、借入金の返済が確実にできる見込みのある方

☆申込日現在、満七十歳未満の方
☆原則として（助公庫住宅融資保証協会の保証を利用し、かつ団体信用生命保険特約制度に加入される方

☆日本国籍の方または永住許可を受けている外国人の方

◆受付期間

十月二十五日（土）～十一月二日（日）、午前十時～午後四時まで

◆受付場所

山口佐山ハビテーション現地受付所

◆抽選日・場所

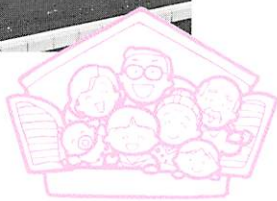
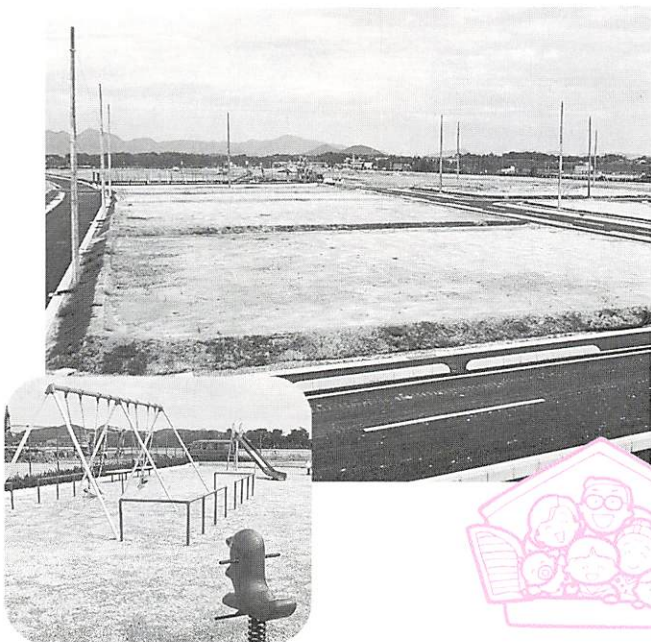
十一月七日（金）午後一時三十分～・山口南総合センター

◆申し込みに必要なもの

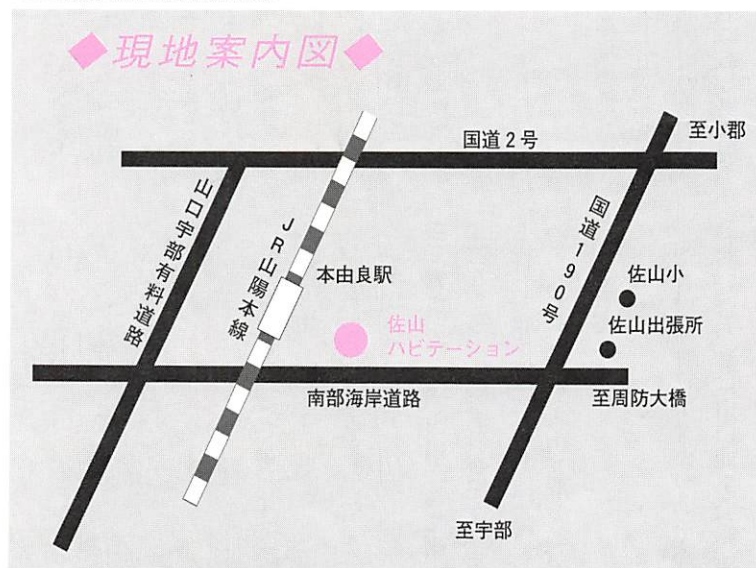
分譲住宅申込書（公社または現地受付所にあります）、住民票（入居予定者全員）、収入証明（所得証明書または源泉徴収票）

◆問い合わせ

山口県住宅供給公社管理分譲課（☎2212876）へ



◆現地案内図◆



名称	山口佐山ハビテーション
所在地	山口市大字佐山字櫛ヶ崎945番地ほか
設備	電気／中国電力、上水道／山口市上水道ガス／集中供給LPガス、下水道／集中浄化槽方式、ケーブルテレビ
宅地面積	233.18㎡～353.04㎡
販売区画	41区画
販売価格	855万円～1293万円（宅地のみ）
販売方式	売建方式（宅地・建物を同時譲渡）
引渡時期	平成10年8月（予定）
学校区	佐山小学校、川西中学校
交通	J R山陽本線本由良駅まで5分 J R小郡駅まで9 km

※売建方式… 宅地の決定後にご希望の建物を決めていただき、宅地・建物をセットで分譲するものです。建物については、自由設計です。

いきいき！ 商店街

商店街空き店舗対策モデル事業

平成9年度、山口商工会議所が重点事業として取り組んでいる「商店街空き店舗対策モデル事業」。この事業は商店街の空き店舗を有効活用することによって、商店街の魅力や賑わいを高めようというもので、チャレンジショップ事業、情報提供事業、イベント事業など様々な取り組みが実施されています。ここでは、モデル事業の一部を紹介するとともに、その事業に取り組んでいる皆さんの声をお伝えします。

チャレンジショップ事業

この事業は、中心商店街で「お店を持ちたい」方を募集し、空き店舗を有効活用しようとするものです。審査の結果五店舗が決定し、このたびオープンしました。そこで、それぞれのチャレンジショップの代表者にお話をうかがいました。

一輝



萩焼・
かずら細
工・絵画
などを販
売されています。代表の藤井輝子さんは「かずら細工や絵画など、自分で制作したものを皆さんに見てもらえるという喜びがあります。県の女性起業家セミナーにも参加し、経営についても勉強して、やるからにはとことんやってみたいです。」

ヒューマンスペース
きらきら
銀魚
大庭晴子代
表。障害をも
っておられる方などが中心となっ
て作られているサークル「きらき
ら銀魚」のみなさんが手作り品の

展示販売、作品づくりの情報交換などを行っています。「障害を持つていられる方もそうでない方も、一緒に情報交換や交流ができる場になればと思っています。商店街に求められた方たちにも気軽に楽しんでいってもらいたいですね。」

デザイン企画・制作

MDP



新宮健二代表。印刷物のデザイン、企画、カラーコピーサービスなどをされています。「以前は別の所に会社があったんですが、やはり商店街の中はいいですね。また、将来的には皆さんに気軽にパソコンにふれてもらえるような講座もやってみたいです。」

Cafe Marco



成瀬益久
代表。軽
食・喫茶
のお店で

す。「私は商店街の近所づきあいができるような暖かい雰囲気があるのが好きなので、商店街に店を持つことができて本当によかったと思っています。また、この事業でがんばる気になりました。」

「遊びにきてね！」ミニスタジオ 「スタジオ・サンデー」

山口大学のミニFMサークルの3人が商店街で放送をやってみたく、商工会議所に企画書を提出。8月29日からミニスタジオを開始しました。「学生や大学の先生ぐらいたく話しかけたいので、商店の方やお客さんとの話を通してコミュニケーションをとることの楽しさを感じています。」

「ミニスタジオを知ってもらい、いろいろな人にどんどん参加してほしいです。そして中心商店街がもっと活気に満ちるようになればと思っています。」

この日もミニスタジオはギターを持った若者がオリジナル曲を披露したり、街頭宣伝をしていた人がスタジオから呼びかけたりとにぎわっていました。

ミニスタジオを運営する3人
河野康子さん、山口佐和加さん、杉崎美香さん



情報提供事業

アトリ工武紗士
岩下芳人代表。
ガラス工芸品の
製造・販売、カ
ルチャースク
ールなどをされています。「単にガラス製品を売るだけではなく、実際にここでガラス細工づくりを体験してもらったりして、皆さんにガラスの美しさ、作る楽しさといったことも感じてもらえればと思います。」

イベント事業

イベントといっても、直接販売に結びつくものだけでなく、皆さんに楽しんでもらえるものを、ということ。まず七月の中旬から下旬にかけて「山口今昔物語」と題した写真・絵画展が開かれました。今後も時季に合わせたイベント、カルチャースクールなどが計画されています。

空き店舗対策事業についての
お問い合わせは山口商工会議所
(☎ 25・2300) まで

16地区めぐり⑦

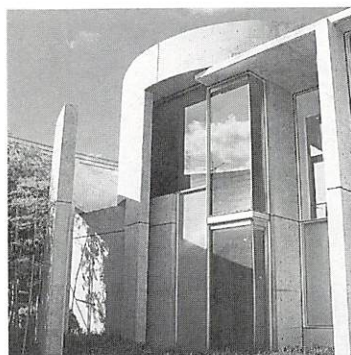
湯 田

山陽道随一の名湯・湯田温泉は県内観光の拠点。この温泉街をはさんで古くからの家や商店が軒を連ねる旧道沿い地区、住宅や事業所の急増する国道9号線沿いの3区域によって構成されています。

人口13,982人、5978世帯（10月1日現在）

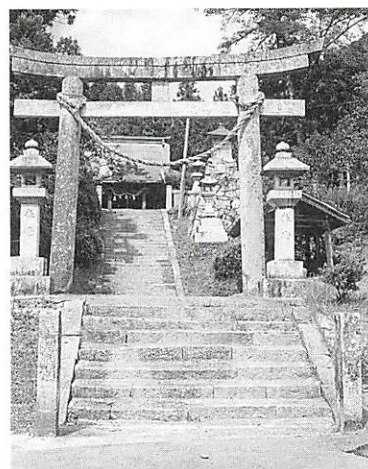


J R湯田温泉駅前の
「湯の町ゆう太」くん

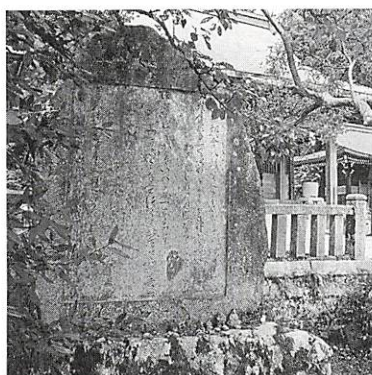


朝のざわめき、夕方のけいはい。
中也記念館も、そんな湯田の空気と一緒に呼吸しています。それは、中也も感じた生活の気配でしょう。とてもあたたかく、うれしいのです。

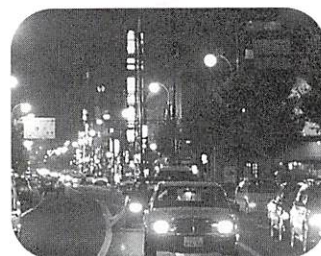
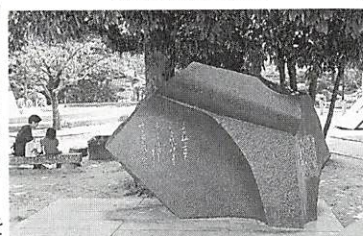
——— 中原中也記念館 福田百合子館長



「七卿の都落ち」の三条実美らが尊王攘夷の祈願にたがび参拝した朝倉八幡宮。その時詠じた和歌が境内の石碑に彫られています。



高田公園の詩碑



- ①湯田公民館（☎22-8218）
- ②児童文化センター・児童図書館（☎22-4285）
- ③サンフレッシュ山口（☎33-0001）
- ④山口県婦人教育文化会館（☎22-2792）
山口市働く婦人の家（☎21-1929）
山口ファミリー・サポート・センター（☎28-4150）
- ⑤老人憩いの家寿泉荘（☎24-4115）
- ⑥湯田小学校（☎22-0092）
- ⑦湯田中学校（☎22-1189）
- ⑧養護老人ホーム福寿園（☎22-2184）
- ⑨山口県総合庁舎
山口県税事務所（☎25-3111）
山口農業改良普及センター（☎22-5249）
山口土地改良事務所（☎22-1993）
山口土木建築事務所（☎22-1070）
- ⑩防長青年館（☎23-6088）
- ⑪山口公共職業安定所
ハローワーク山口（☎22-0043）
- ⑫ニューメディアプラザ山口（☎21-1125）
- ⑬中原中也記念館（☎32-6430）



日本の近代の幕を開けた明治維新。長州は維新の大きな原動力となりました。幕末に藩庁が移された山口は萩とともに維新発祥の地でもあります。

明治維新と山口

文久三年（一八六三）五月十日、長州藩は下関海峡を航行中の外国船を砲撃しました。江戸幕府が攘夷実行の日と定め諸藩に布告していた日、これによって長州藩は全国の尊王攘夷を主張する人たちのリーダー的存在となりました。

幕府は、攘夷実行の布告は將軍家茂の本心ではなく、將軍の言動が朝廷の考えによって左右されることは權威を失墜するものとして、長州藩の外国船の砲撃に対しても過激な行動と断ずるようになりました。長州に政權を奪う野心ありとみなされ、毛利氏は皇居守衛の役を解かれました。この時、貴族の中で尊王攘夷を強く主張していた三条実美らの公卿は罷免され、長州に下りました。『七卿の都落ち』といわれています。

元治元年（一八六四）、京都の

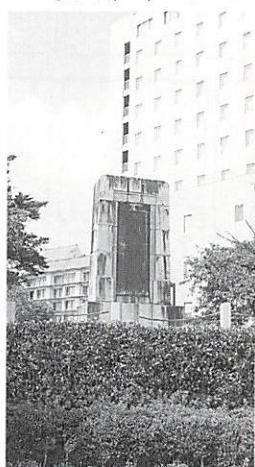
旅館で長州藩志士らが新選組に襲われた『池田屋騒動』。劣勢挽回をねらった『蛤御門の変』でも敗れ、敬親父子は朝敵の汚名をこうむり官位を奪われました。幕府の第一次長州征討も行われ長州藩の苦衷は続きます。

藩内でも、藩の安泰を主張する保守派と尊皇攘夷の革新派が激

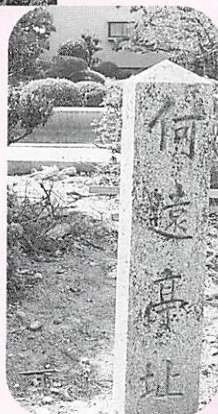
高田公園 井上馨は一八三五年にこの地で生まれ、幕末の国事多難な時期に大いに奔走し、維新後は明治政府の外務、大蔵大臣などを歴任しました。



◀七卿の碑



何遠亭は七卿の三条実美らの宿舎にあてられた所で、全国の勤皇の志士が出入りしました。「何の遠きことか之有らん」の論語から命名。



杉晋作によって奇兵隊が結成されます。藩内には再び保守・革新の争いがおこっており、奇兵隊は藩内各地で保守派の軍を破り、革新派の勢力が強まることによって開国倒幕の機運が大いに高まりました。敬親は再び山口に入ってきました。

第二次長州征討でも幕府を打

むなきにいたらしめ、ここに明治維新は成ったのです。

明治維新の歴史に造詣が深く、ご自身のコレクションを湯田温泉の『おおすみ歴史美術館』に展示公開されている大隅健一さん（神田町）は、「松下村



で、池田屋事件で倒れた吉田稔磨は一時期、三和町の羽坂牢に入っていました。大正時代まで営業し、現在も跡（松田屋隣、現中電湯田寮）が残っている瓦屋旅館は、娘さんが日本大学の創始者でもある明治の大立者・山田顕義に嫁ぎ、維新の志士が集った旅館と聞いています。赤根武人、周布政之助、所都太郎など多くの維新ゆかりの人の名をあげられる大隅さん。「しかし、歴史の表に出ないおびただしい人々の努力なくしては、やはり維新の大業は成らなかつたでしょう」と話されます。「今ちやうど彼岸花が真

つ赤に咲き誇っています。維新は日本の歴史に咲いた彼岸花じゃないでしょうか。一年の一時にだけ燃えるように咲き、根にはデンプンを蓄え農民の非常食でもあった彼岸花に、蓄えたエネルギーを爆発させ時代のさきがけとなった長州人の心を見ます」。

湯田温泉の歴史とこれから

大内氏の時代、一匹の白狐が夜な夜な寺の池に傷ついた足を浸していました。不思議に思った住職と近所の人がこの地を掘ってみると熱い湯が湧きだしました。湯田温泉の『白狐伝説』です。

一三七二年に來山した明の趙秩が『十境の詩』に「温泉春色」と詠んだ湯田温泉。大内氏壁書には「夜半に湯田の湯にはいることを禁ず」ともあります。毛利氏の時代には、現在の野原旅館あたりに毛利氏の別邸・湯田御殿が設けられていました。幕末、七卿の都落ちで湯田温泉の名は広く知られ、四方から維新の志士たちが訪れるようになりました。



エル記念聖堂の完成、そして二〇〇一年未來博と発展のチャンスが続きます。都市型温泉として、山口のまちづくりの中で発展を考えると、大内文化や中心商店街と連携して交流人口を増やしていくことが重要だ」と話されています。

「県内観光の基地でなく目的観光地を目指しています」とこれからの湯田温泉を語られる湯田温泉旅館協同組合理事長の木村洋太郎さん。「毛利元就、来年のサビ

湯田の
ふるさとづくり

「湯田には十一^{いっぴ}会という十四町内会長の月一回の定例会があります。横の連絡を取り合って親睦を図り、各町内会の悩みもみんな考えています」と湯田地区町内連合会会長の伊藤健生さん。「湯田」という土地柄から



伊藤健生さん
「無愛想だな」という印象を

持たれないようまちづくりも必要です。高田公園の史跡の説明をしてあげたり、中也記念館の道順を親切に教えてあげたりして、観光客に『また湯田に来よう』と思ってもらえるような町にしたいですね」と話されます。



小林正人さん
でも高齢化は大きな問題です。施設を

作ることも大切ですが、基本は心の問題だと思います。福祉・高齢者問題を各地区公民館活動の一つの

大きな柱にし、市全体のテーマにしたいですね。みんなで考えなければ解決できる問題じゃありません。福祉の問題をはじめ、地域づくりは一人の百歩よりみんなの十歩です」と地域活動への参加を呼び掛けられています。



山田忠子さん（熊野町）も「公民館を拠点に湯田のまちづくりを」と話されま

す。

「湯田では運動会のテント張りや公民館クリーン作戦など公民館主催の行事には利用四十団体から必ず一名以上が参加して手伝うことになっています。すごくいいことだと思います。だからこそ、もう一歩進んで、みんなで真剣に湯田のまちづくりを考えられたらいいなと思ってるんです。それぞれの団体はみんな本気です。これです。それを基盤にすれば公民館がカルチャーセンターだけでなく、地域づくりの拠点になれると思います」。

公民館を拠点に湯田のまちづくりをしようとして活動をしているグループがあります。平成七年に発足した「湯田地区ふるさとづくり推進協議会」です。

「湯田は大内氏、毛利氏にゆ

かりがあり、維新発祥の地でもあります。中也の生誕地で山頭火の寄宿もあった。そして湯田温泉。それらを活かした活動をしています」と会長の松永正己さん。



湯田公民館のふるさとまつりでは、温泉の湯を使った

「温水プール」が好評です。「湯田から転居した子供や秋芳の方からも遊びに来てくれますよ。また、湯田という温泉街、住宅地のイメージが強いですが、兄弟山や権現山など自然もあります。体力づくりとふるさと再発見を兼ねてミステリーハイキングも行っています」。



今年の安心フェスタ

『安心フェスタ』というちょっと変わった名前の行事も、この会の主催です。交通安全・防火・防犯をテーマに警察署や消防署の協力を得て地区民みんなが遊びながら学んじやおうというイベント

です。「湯田は交通量も多く、家やビルも建てこんでいます。湯田地区にとっては大事な問題とってははじめました。平成四年の一回目は四百人分のおにぎりを用意していたのが、参加は百人前後。でも回を重ねるうちにすっかり定着しましたよ。いまでは地域のいい交流の場にもなりました」。

名前のとおり湯田のふるさとづくりをすすめる推進協議会。今年はおいでませ湯田のまち「なんでも知ってるマップ」の作成にもとりかかっています。

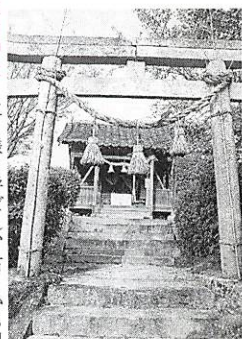
「湯の街湯田は有名ですが、維新のふるさととしての湯田をもっと地区の人や市民に知ってほしい」と田中清久湯田



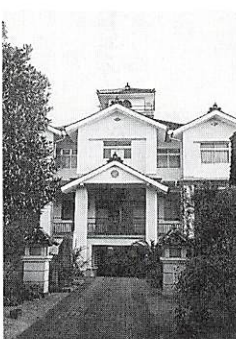
「地区の財産であるふるさとの歴史をよく知ることからまちづくりははじまると思います。湯田公民館まつりを『ふるさとまつり』と名付けているのもそういう気持ちからです」。

歴史や文化、地域で行われるさまざまな活動、そしてなによりも湯田のまちづくりになうのは湯田の人たち。

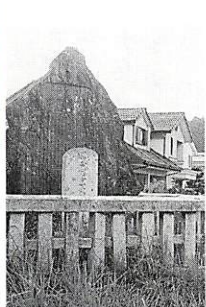
「湯田の人たちがもつと知り合って、まちづくりを考え合う。そんな交流こそ湯田地区の一番大きな財産になると思います」。



生目神社 生目様と呼ばれ、古くから眼病治療の祈願に多くの参拝者が訪れます。



竜泉寺 大内義興が患ったとき、湯田温泉の勢至菩薩に祈願し完治したのでこの地に建立したと伝えられます。幕末には七卿の東久世・四条両卿の宿舎になり「前町御殿」といわれました。



錦小路頼徳の墓 七卿の一人。下関の砲台を巡視中に発病、三十歳で没しました。藩主敬親が喪主となってこの地に葬りました。



大林寺 朝倉八幡宮の東隣。観音堂に県指定有形文化財の十一面観音菩薩像が安置されています。

ふれあい夢フェスタ'97

やまぐち県民文化祭

” 伝承・交流・創造 ” がテーマの第1回やまぐち県民文化祭
今年は山口市を中心に開催されます

ふるさと山口——栄華を極めた大内時代と
現未来の夢を重ねた歌舞組曲

歌舞組曲「瑠璃いろの煌・風にのって」

山口県出身の俳優 細川俊之氏と県内各地からの出演者、スタッフによる総合的な創作舞台です。
大内時代に思いを馳せながら、ふるさと山口を再発見。

第1幕 池は海、梢は夏の章

大内時代にタイムスリップした少年と少女。そこは熱気たちこめる中世の山口だった。

第2幕 月の波、雲居は秋の章

大内塗、大内人形などの伝統工芸品。大内文化が光彩を放つ

第3幕 猛き修羅、炎の冬の章

地球の果てから「一粒の種」を運んできたサビエル。そんな中、大内文化は運命の危機を迎える

第4幕 花ふぶく、春満天星の章

新しい時代に向かって夢を描く人々。少年と少女も満天の星にむかってふるさとの未来を語りかける

11月2日（日）14:00開演（13:30開場）

山口市民会館大ホール

入場無料（要入場整理券）

* 官製ハガキまたはファクスで入場整理券をお申し込みください



▲細川俊之

申し込み・問い合わせ

メインフェスティバル実行委員会

山口市滝町1-1 県庁文化振興課内

☎ 33-2610 ☎ 33-4829

中国、韓国、そして日本。 三国の文化交流を音楽から探究する

伝統音楽の夕べ「東アジア文化の集い」

朝鮮半島には三国時代以前から中国の文化が輸入されています。四世紀から七世紀にかけての三国時代、高句麗、新羅、百濟はともに中国音楽を取り入れ、音楽とともに中国楽器が移入、その一部が日本にも伝えられています。中には百濟の味摩之（ミマシ）が日本に伝えた「伎楽」（仮面の舞人が楽器にあわせて無言ながら喜劇的に演じるもの）があり、それは能・狂言の祖である「猿楽」にこっけいさが受け継がれています。

そんな三国の文化交流を、音楽という視点から考えます。

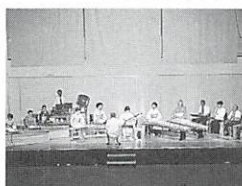
11月3日（月・祝）16時開演
山口市民会館大ホール
入場料
高校生以上 八百円（当日千円）
中学生以下 無料

* チケットは県内主要プレイガイドで発売中

問い合わせ
同実行委員会
☎ 33-2610



▲慶尚南道国楽団



▲邦楽アンサンブルやまぐち



▲山東省青少年民族楽団

県内の劇団が集結。山口市内の劇団3団体も公演一

「演劇フェスティバル」

劇団サークル「トラム」

『夜の来訪者』 作／ブリーストリー 訳／内村直之 演出／藤原重孝

10月26日（日）14時開演 NAC（中市コミュニティホール）

今年で結成35周年を迎えるトラムです。今回の作品ははじめての再演で実に22年ぶりにやるんです。希薄になったといわれる家族とのふれあいや絆の大切さを感じてみてください。公演終了後、じわじわハートに伝わるはず。トラムは、地域の子供たちと一緒に作品をつくれるような劇団を目指しています。ぜひ、この度の公演を観て、仲間になりませんか。

（問い合わせ けいこ場 ☎20-2835）

「トラム」代表 藤原重孝さん



劇団★夜の子供計画

『バンク・バン・レッスン』

作／高橋いさを 演出／小林ツトム

10月25日（土）19時開演

ニューメディアプラザ山口



ひたすら笑いとかつこよさを追及し、見終わったあと元気になるという劇をやっています。テーマなんて、この劇団には存在しません。だけど、テンション高くなりますよ。僕らの演劇は入門編。ちょっと演劇は…とむずかしく考えている方はぜひ、この演劇を観てください。また、役者の意気のよさもぜひ感じてみてください。仲間になりたい人はぜひ会場でスタッフに声をかけてください。

劇団★夜の子供計画主宰 セニョール小林さん

シアターデビュタント

『Ash Gray』

（アッシュ・グレイ）

作／前川和雄 演出／平山智也

10月25日（土）14時開演

NAC（中市コミュニティホール）



山口大学演劇部OBが集まって平成6年に結成した、市内では一番若手が多い劇団です。僕たちはセリフやことばにこだわった作品をつくっていますが、今回もテンポがいいセリフ展開で、動きもハードなおもしろい作品になりました。僕たちの劇団は演じ手とお客さんとの間が短いことが特徴です。「普通の人たちががんばっているな」って感じて観てください。これを機会に長いお付き合いをお願いします。

シアターデビュタント 前川和雄さん（写真左）、平山智也さん

入場料

一会場入場券 1,000円

（当日 1,200円）

三枚組入場券 2,500円

* 県内主要プレイガイドで発売中

●公演はほかに劇団さくら組（10月26日 18時30分開演 ニューメディアプラザ山口）と演劇集団タナゴの会（11月15日 19時開演 同）が行います

問い合わせ 同実行委員会（☎33-2610）

第26回山口市民文化祭

恒例の市民文化祭も次の日程で開催されます。ぜひご来場ください。

11／8（土）10時～20時30分

9（日）10時～16時

山口市民会館

11／8【大ホール】

（昼の部 13時30分～）

邦楽・詩吟

（夜の部 18時30分～）

諸部門～太鼓、民謡、マジックなど～

11／9【大ホール】（10時～）

日本舞踊・長唄・小唄

両日とも展示、お茶席があります *一部有料あり

問い合わせ

市教育委員会文化課

（☎20-4111）

お問い合わせ

同実行委員会（☎22-2754）

* 県内主要プレイガイドで発売中

11月3日（月・祝）15時開演
維新百年記念公園野外音楽堂
（ビッグシエル）
入場料 千円（当日 千五百円）
中学生以下は無料



▲WILD AT HEART

ゲストとして山口県出身のボーカリストGAO率いる「WILD AT HEART」が出演。司会者はテレビやラジオでお馴染みの大谷泰彦さんです。

県内で活躍する9バンドの熱いコンサート



第一回やまぐち県民文化祭が

メインフェスティバルをはじめ、山口市を中心として開催されるのをたいへんうれしく思っています。

この文化祭の大きな特徴は「県民総参加」ということです。多くの皆さんが自分たちの手で企画し、つくり、そして参加する催しものばかり。たくさんの方が携われたことをとても意義深く感じます。

市民のみなさんは、ぜひいろいろな催しに参加してみてください。特に「瑠璃いろの煌・風につて」は大内文化の再発見ができるはずです。大内文化は私たちが考える以上にすばらしい文化なんです。

今後、様々な文化行事を通して、山口から全国発信ができ、それが山口市への誇りにつながればと願っています。

やまぐち県民文化祭実行委員会 会長 田村幸志郎さん



「慰霊の碑」の前で平和の祈り

戦後、日本への帰国を果たせずに亡くなった中国残留婦人の霊を慰める法要が瑠璃光寺境内で行われました。法要は、中国残留邦人の一時帰国援助事業などを行っている『中国残留婦人交流の会』が、『慰霊の碑』を建てた平成4年から毎年10月1日を『慰霊の日』と定め行っているものです。花やお茶を供える一時帰国中の富田光子さんたち4人の残留婦人の目には涙がひかり、山田忠子会長は「熱い思いを込めて碑を建設しました。平和を守ることを誓います」と述べられました。

地区と学校が結びついて～佐山地区ふれあい運動会

佐山小学校で9月28日、第1回佐山地区ふれあい大運動会が行われました。地区と小学校が合同で行ったもので、今年初めての試み。地区民と小学生と一緒に競技をして楽しい1日を過ごしました。運動会の実行委員長を務められた古屋安夫校長は「佐山地区体育協会役員の皆さんと先生方が競技の進行など懸命に取り組む姿をみて子どもたちもうれしかったと思います」。佐山地区体育協会会長の渡辺通章さんは「先生方のご協力でお互いが教えあうことが多かったと思います」。校長先生も会長さんも「今年大成功だったので来年もぜひ続けたい。これを機会に小学校と地区との連携をぜひ深めたい」と話しておられました。

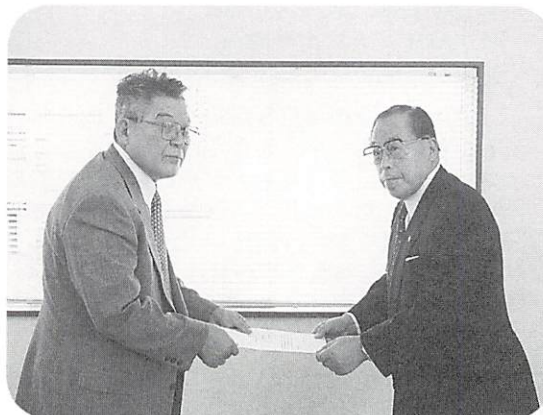


第1回矢原町土地区画整理審議会



山口市初の土地区画整理事業となる矢原町の現地事務所で初の審議会が9月24日開かれました。

審議会では、審議会委員10人から会長に宮崎昭三氏（前県土地区画整理協会副理事長）、副会長に藤井晃氏（農業）を選出、佐内市長の諮問を受け、國宗信彦・富永伸二（不動産鑑定士）、中嶋邦雄（県山口市土木建築事務所用地監）、中野勉（公認会計士）、井上斌（市固定資産評価員）の5氏を評価員に選任しました。



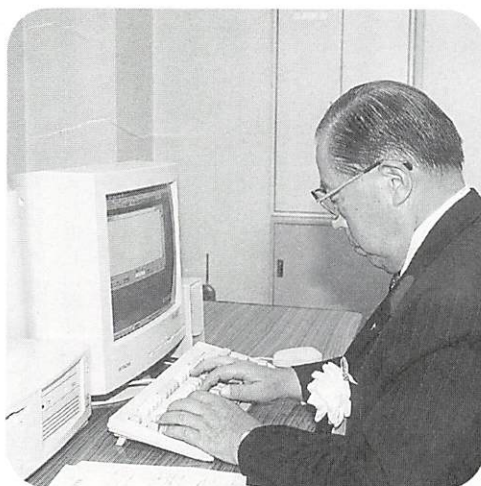
佐内市長が宮崎会長に評価員の選任を諮問

おもなできごと（9/23～10/6）

- 9月
- 22日 ★中原中也生誕90年記念大会
- 23日 ★復活・スルヤ演奏会'97
- 24日 ★第1回山口都市計画事業矢原土地区画整理審議会
- 25日 ★市議会第5回定例会委員長報告・討論・採決
- 28日 ★第1回佐山地区ふれあい大運動会
- 29日 ★山口市市民大学講座（養老孟司）
- 30日 ★市長を囲む会（陶）
- 10月
- 1日 ★山口市WAN開通式
★赤い羽根共同募金街頭募金運動
- 3日 ★全国内水面漁業振興大会
- 4日 ★山口市青少年健全育成推進大会
佐山地区大会
★アートふる山口（～5日）
- 5日 ★やまぐちはつらつ健康フェスタ

山口市WAN開通

10月1日から、市役所本庁各課、出張所などをパソコンで結ぶ山口市WAN（ワイド・エリア・ネットワーク）が稼働しました。電子メール、電子掲示板、会議室や車両予約などの共通OAシステム

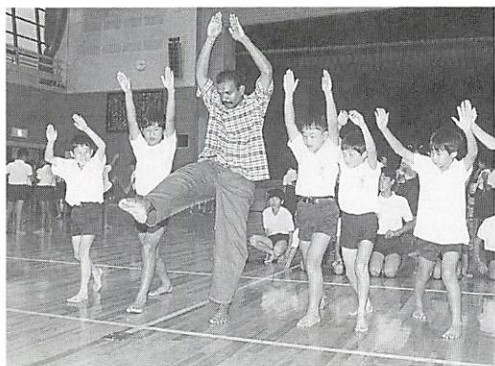


山口市WANをスタートさせる佐内市長

と平成10年度予算編成から使用する新財務会計システムによって、事務改善、情報の有効利用を目指します。佐内市長は「ネットワークは庁内各課の風通しを良くし、蓄積される情報を有効活用することによって、結果として市民の皆様へのサービス向上に役立てたい」と話しています。来年2月頃には市立小・中学校とも結ぶ予定です。

健康フェスタ～日ごろの体力に挑戦

やまぐちはつつ健康フェスタが、10月5日、県総合保健会館で開かれました。10月の健康増進月間にあわせて健康への意識を高めてもらおうと初めて開かれたもので県内各地から約1800人が訪れました。会場では体脂肪率や血圧の測定、薬の相談、運動体験コーナーなど多くの催し物があり、その中では運動体験コーナーでは脚筋力・握力・全身反応測定などに挑戦、軽く汗を流して自分の体力を試していました。2階多目的ホールでは女優の沢田亜矢子さんの「愛に生きる～私が出会った素敵な人々」と題した記念講演があり、多くの人が聞き入っていました。



インドの人たちと交流

公演のため来日しているインドケーララ州の伝統芸能伝承者21人の皆さんが、宮野・良城小学校を訪問し、子供たちとの交流集会が開かれました。良城小学校には、9月25日に訪問学校で開かれた集会では踊りを教えてもらったりして交流を深め、子供たちは「うわーすごい!」「とってもおもしろい」と大喜び。この集会を企画された山口市国際理解教育事業推進協議会の中野智昭さんは「子供たちにアジアの異文化に触れてもらいたい、国際理解のきっかけになればと思って企画しました。この中から国際社会に飛び出すような子が出てくれればいいですね」と話されています。

リサイクルに取り組み環境を守ろう

10月1日から9日まで市役所市民ホールで「エコ文具・エコ生活用品展示会」が開かれました。これは、市職員45人で組織する庁内エコ・リサイクル推進会議が、環境にやさしいオフィスづくりを目指してエコマーク商品やグリーンマーク製品を約90点展示したものです。熱心に見られていた吉安五郎さん（白石）は「大変いいことです。日ごろからリサイクルに関心があります。空きびん、空き缶は分別収集に出し、ほかのビールびん、アルミ缶、布きれは町内の集団回収に出しています。」と話しておられました。



中也生誕90年祭がはじまりました



今年、中原中也生誕90年・没後60年の記念の年です。9月22日には、『中原中也の会』（中村稔会長）主催の記念大会が湯田温泉のホテルで開催され、詩人飯島耕一さんたちによる『中也とフランス文学』と題するシンポジウムなどが行われました。記念講演は「中也について語るのは初めて」と言われる文芸評論家の江藤淳さん。「中也の詩は読むたびに気持ちがせいせいする。故郷があたたかく中也を迎えて彼の詩業をしのんでいる。非常に感動的です」と話されました。



翌23日は、県教育会館で『復活スルヤ演奏会 97』。『スルヤ』は昭和2年結成のアマチュアの音楽集団。第2回演奏会で中也の『朝の歌』などの詩に曲がつけられ発表されました。中也の故郷山口で復活した『スルヤ』の演奏は、中也の詩の豊かな音楽性を感じるもので、約400人のお客さんが聞き入りました。

生誕祭は、10月22日の碑前祭、ジョイントコンサート『一つのメルヘン』、22日～11月24日の企画展『中原中也とランボー』と続きます。（お問い合わせは中原中也記念館 ☎32-6430へ）

百田さん－文部大臣賞を受賞

県ボランティア振興財団に勤務されている百田達成さん（大内御堀）は作年末に応募された「障害者とともに働く提言・体験手記」の第二部で文部大臣賞二席をみごと受賞されました。小児マヒの後遺症による両上下肢障害の百田さんは2か月に1回発行される「ボランティア基金だより」の編集を担当。これに掲載する写真を撮るのが大変で最初のころは手持ちでカメラを操作、腕の力が弱いため困ったそうです。今は、一眼レフカメラを車いすに工夫してとりつけ、撮影されています。「自分なりに一生懸命やってきたことが認められうれしい。これからも障害者やお年寄りの明るい表情を長い時間をかけても表現していきたい」と意欲満々に仕事に取り組んでおられます。



秋といえば……



「〇〇の秋」といえば、「食欲」、「スポーツ」、「芸術」……、そして「読書」。秋風の吹く中で、本を開き、読書にいそしむ。秋の読書は私たちをちょっとぜいたくで素敵な気分にさせてくれます。

そんな季節、あなたはどんな本を読んでいますか？ 昔読んだ思い出深い本でしょうか。それとも、今話題の流行作家の本？

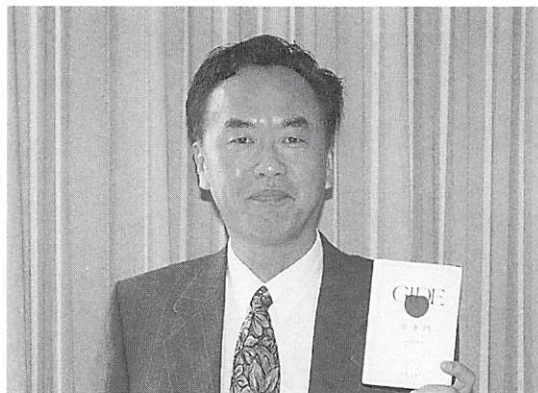
この度は読書が大好きな3人の方に、ご自身の好きな本や印象に残った本をご紹介します。

今年の秋、素敵な本に出会ったり、再会してみたいはいかがですか。



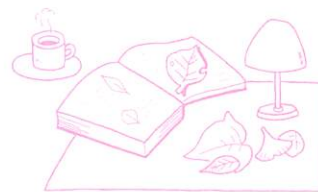
青春時代の思い出がよみがえります

ジッドの「狭き門」を紹介してくださったのは芥川洋さん。「この本は学生のころに初めて読んで、すごく感動したことを良く覚えています。主人公の途な思いや純粋さといったものが、とてもよく伝わってくる作品です。最近では映像が万能の時代と言われていて、毎日いろんな情報が一方的に流れ込んできます。でも本には映像では難しい『自分で想像をふくらませる』ということができるし、それだけ自分の心の中に強く印象に残るのです。みなさんも公民館などで数人のグループを作って読書会をやってみられるといいと思いますよ」と熱っぽく語られました。



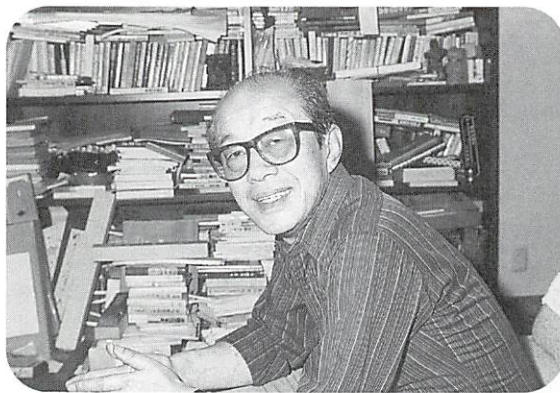
私は渡辺淳一のファン

山本親子さん（吉敷）は、外出するといつも本屋さんに立ち寄って2～3冊は買って帰るという読書愛好家。そんな山本さんが好きな作家は渡辺淳一だとか。「好きな作品は『無影燈』と『白夜』です。医者ドラマというのはとても引き付けられますね。だけど、『失楽園』といった最近の彼の作品はちょっと苦手」。少しでも時間があれば読書をするという山本さん。86歳にみえない元気の源はたくさん本にあるのかもしれない。



本は読み返すことが大切

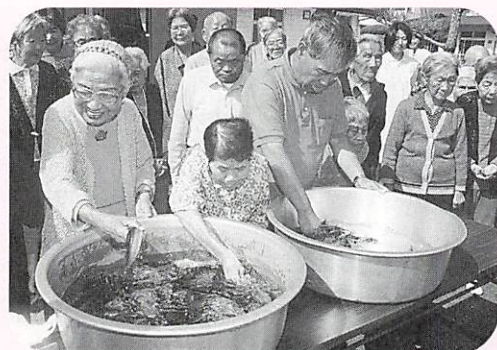
米田俊則さん（宮野）は、現在今年1月に亡くなった藤沢周平の作品を読み返しているそうです。「前に読んだ作品を読み返すと若いころと感じが違い、面白いですね。読書はものごとを覚えるためではなく、得た知識を何かにいかす。これが大事ですよ。同じ本を何回も読み返すことが必要ではないでしょうか。単に知識を得るための読書よりその人の人生を豊かにする読書の方がいいと思います」。



寄贈ありがとうございました

樫野川漁業協同組合、今年も福寿園にアユを寄贈

9月29日、山口市養護老人ホーム福寿園に、樫野川漁業協同組合（高石敏男代表理事組合長）よりアユ150尾を寄贈していただきました。これはアユの食べ頃であるこの時期に毎年寄贈していただいているもので、今年で24回目。高石組合長は「元気なアユを食べてもっと元気になってください」とあいさつ。ホームのお年寄りたちは元気に飛び跳ねるアユを手にとったりして大喜びでした。また寄贈されたアユは塩焼きと味噌汁にして昼食に出され、皆さんは大変満足の様子でした。



動くふるさと教室

参加者募集



今年の動くふるさと教室は、普段はできないさまざまな体験をしていただく「体験・やまぐちコース」と市内の文学史跡をめぐる「市内文学散歩コース」の二つを用意しました。

あなたも山口の新たな一面を見つけに市営バスで出かけませんか？

【体験・やまぐちコース】

単なる施設見学ではなく、山口ケーブルビジョンの番組収録や大内塗のはしづくりなど、様々な体験をしていただきます。

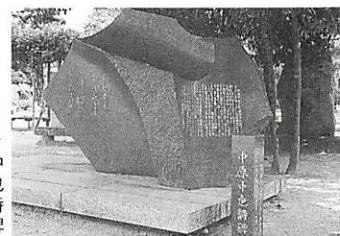
◎期日 11月19日（水）

◎集合 午前9時30分・山口市民会館小ホール前

◎行程 市民会館～ニューメディアプラザ山口（ケーブルビジョン番組収録見学）～山口県総合保健会館（健康づくり体験学習）～昼食～ふるさと伝承総合センター（大内塗のはしづくり）～山口市リサイクルプラザ（空き缶分別機見学）～市民会館

◎参加料 2,000円（材料費・昼食代）

◎募集人員 80人（応募多数の場合は抽選）



▶ 中也詩碑

【市内文学散歩コース】

詩人・和田健さん、「風響樹」同人・多田みちよさんのご案内により、中原中也・嘉村礒多の碑などを訪ねます。

◎日時 11月29日（土）

◎集合 午前9時30分・山口市民会館小ホール前

◎行程 市民会館～犬鳴の滝（山頭火句碑）～大富小学校跡（嘉村礒多文学碑）～妙見社～嘉村礒多生家～鳴滝（中原中也詩碑）～高田公園（中也詩碑・山頭火句碑）～中原中也記念館～市民会館

◎参加料 1,000円（昼食代）

◎募集人員 40人（応募多数の場合は抽選）



山口市リサイクルプラザ

募集要項

- 対象 市内に在住または通勤・通学している人
- 申し込み 往復はがきに希望コース名と参加する方全員の・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、10月31日までに市広報広聴課（亀

モニター 短 信

湯田公民館「ふるさとまつり」

今年もまた、湯田公民館「ふるさとまつり」がやってきます。なかでも子どもたちが楽しみにしているのは『温泉プール』。ミニスライダーが設置されるようになってからは、毎年300人を越えるチビッコで満員御礼。

夜には「星をみる会」も企画され、おいしい月見だんごのおまけつき。気になるのは空もよう。今年もどうか晴れますように・・・

★開催日 10月18日（土）・19日（日）

ほかにもたくさんの展示、販売、催し物があります。

★問い合わせ 湯田公民館（☎22-8218）



湯田地区広報広聴モニター 内山久美子さん

「新開作西に伝わる観音様」

名田島の新開作西地区には、ここの住民でお守りしている観音様があります。日々のお世話は地区のご婦人方が当番制で1日も欠く事なく毎日香を焚き、お花などの供物をしており、当たり前前の事の様に姑から嫁へと受け継がれています。ただし、昔からあるというだけで詳しくは知られていませんでした。この観音像について、名田島の地下史研究会（代表・木村義雄氏）が調査したところ、像内に残る墨書によって、今は廃寺となった小郡町の泉福寺の什器（日用道具）であったものが、天明7年（1787）7月10日に新開作のものとなった事がわかりました。更に仏像に詳しい郷土史家の内田伸氏によれば、400年位前の物で、技術も高く中央の仏師の手によるものと推定されるそうです。

毎年秋のお彼岸には地区をあけて観音様の御供養をしています。今年は少し早い9月14日に行われました。折しも長い年月により古びていた観音像を修理に出し完了して間もないこともあり、集まった人達も立派な聖観音を前に、感嘆しつつ手を合わせていました。

小さなお堂ではありますが、誰でもいつでもお参りできる、この地の宝でもある観音様です。



名田島地区広報広聴モニター 亀井ひろ子さん

いい汗かいてシェイプアップ トリム教室(後期)

- 日時 10月28日～来年2月17日
までの毎週火曜日、午後7時～9時
- 場所 山口南総合センター
- 内容 ニュースポーツ種目を中心としたスポーツ教室
- 対象 運動不足やストレスを解消したい人など
- 募集人員 50人(先着順)
- 参加料 3,000円(保険料および実費)
- 持参品 体育館シューズ、汗拭き用タオル、縄とび
- 申し込み 10月17日から電話または直接、山口南総合センター(名田島1218-1 ☎32-8333・小郡72-8333)へ
- ※10月22日(水)午後7時から説明会を行います。

緑化教室(マツの手入れ)

- 日時 11月8日(土)午後1時～4時
- 場所 維新百年記念公園内 野外音楽堂
- 内容 マツの手入れ・実習
- 募集人員 50人(先着順)
- 参加料 500円
- 申込期間 10月20日～24日
- 申し込み 電話で住所・氏名・年齢・電話番号を、(勸山口県公園協会 ☎22-2754)へ
- ※剪定作業のできる服装で、剪定ばさみを持参してください。

パソコンの 超初心者コース

- 日時 11月5日～21日までの水・金曜日、午後7時～9時
- 場所 サンフレッシュ山口
- 内容 Windows 95の基礎、Excel 95入門
- 対象 パソコンを始めてみたい人やパソコンがこわくてさわれなかった人など、パソコンの超初心者
- 募集人員 20人(応募者多数の場合は抽選)
- 受講料 4,000円
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・電話番号・年齢・勤務先を記入し、10月24日(必着)までにサンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5-22 ☎33-0001)へ

グリーンフェスタ ひろしま バスツアー

- 日時 11月1日(土)午前8時出発/午後5時帰着予定
- 行程 山口市民会館前～防府東IC～廿日市IC～グリーンフェスタひろしま会場(広島大学本部跡地)～廿日市IC～防府東IC～山口
- 募集人員 80人(最少催行人員35人)
- 参加料 大人5,800円、子ども・身障者5,000円(入園料含む)
- 申し込み 山口市交通局(第二種旅行業知事登録第2-44号 ☎22-4111)へ

高齢者にやさしい 住まいづくり講座

- 日時 10月29日、11月5・17・19日、午前10時～正午
- 場所 山口市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1)
- 対象 快適でいきいきした住まいづくりに関心のある男女
- 受講料 無料
- 募集人員 30人(先着順)
- 申し込み 10月27日までに電話で山口市働く婦人の家(☎22-2792)へ

あなたのページ作ります

みなさんからの投稿募集

『わたしの自慢料理』

★投稿内容 400字程度。家族や友だちに評判の料理、季節の料理、健康料理など何でも結構です。男性の料理も大歓迎。作り方に写真やエピソードなどを添えて、いただければ、なお結構です。

★投稿受付 随時

★投稿方法 住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、下記まで
〒753 山口市亀山町2-1
山口市役所広報聴課
(☎22-4111/FAX24-8761)



◎紙面の都合などで、掲載時期が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。

花房晴美・真美

ピアノ・デュオ・コンサート

- 日時 11月17日(月)午後6時30分開演
- 場所 山口市民会館大ホール
- 曲目 スペイン狂詩曲、ラ・ヴァルス ほか
- 入場料 指定席3,000円/自由席2,000円(当日は各500円高)

◆姉妹ならではの息の合った演奏により、フランス印象派の音楽の神髄をお楽しみください。



文化探訪会

「陶・鑄銭司地区文化財探訪」

- 日時 10月25日(土)午前9時～午後3時30分(雨天中止)
- 集合場所 温泉ホーム日吉台前(陶)
- ※当日、山口市民会館前から送迎バスを運行します。利用者は午前8時20分までに集合してください。
- 見学コース
温泉ホーム日吉台→陶窯跡→日吉神社→正護寺→司家の跡→春日神社(昼食)→周防鑄銭司跡→大村益次郎墓→大村神社→鑄銭司郷土館
- 参加費 2,000円(送迎バス利用者は1,000円)
- 持参品 昼食・お茶
- 講師 郷土史家・内田伸氏
- 申し込み はがきに住所・氏名・電話番号・送迎バス利用の有無・「文化財市内探訪参加申し込み」と記入し、10月22日までに、市教育委員会文化課内「山口の文化財を守る会事務局」(春日町五一 ☎2014111)へ
- ※集合場所には駐車場がありませんので、当日はバスなどでお越しください。
- ※あらためてご案内しません。そのまま当日ご参加ください。

募集コーナー

平成9年度
保育サービス講習会

- 期日 10月29日～12月17日までの毎週水曜日
- 時間 午前9時（または10時）～正午
- 場所 山口市働く婦人の家
- 内容 「子供の遊び」「身体の発達と病気」「心の発達とその問題」ほか
- 募集人員 24人（先着順）
- テキスト代 2,250円
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名を記入し、市働く婦人の家（湯田温泉五丁目1-1 ☎21-1929）へ

初心者木工教室

- 期日 10月25日～来年3月28日までの毎月第2・4土曜日
- 時間 午前9時～午後4時
- 場所 山口森林ふれあいセンター（大内長野1978）
- 内容 道具や特殊機械の使い方など、基本技術を身につける
- 募集人員 40人
- 教材費 1か月1,000円（高級材は別途）
- 申し込み 山口森林ふれあいセンター（☎27-2039）または山口市森林組合（☎41-0041）へ
- ※申し込みは、随時受け付けています。

市民パソコン講座

ワープロ（一太郎ver.8）

- 日時 11月17日（月）～28日（金）の月・水・金曜日、午後7時～9時（11月25日のみ火曜日）
- 場所 山口コンピュータ専門学校（富田原町2-23）
- 対象 初心者
- 募集人員 30人（応募者多数の場合は抽選）
- 料金 受講料1,000円／教材費1,600円
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・講座名を記入し、11月4日（必着）までに市地域開発課（亀山町2-1 ☎22-4111）へ

第2回赤い羽根共同募金
歌の祭典 出場者募集

- 日時 12月7日（日）午前10時30分開演
- 場所 山口市市民会館大ホール
- 出場種目
 - ・一般の部（30人以内）
 - ・職場対抗（5組）／3人1組で、女性1人を含むこと
 - ・カラオケ教室の生徒（3教室・各10人）
- 参加料 出場者1人につき協賛券（1,000円）10枚を購入（協賛金は赤い羽根共同募金に充当します）
- 申し込み 山口県共同募金山口市支会（上堅小路89-1／市社会福祉協議会内 ☎24-0543）へ

平成9年度看護職講習会

■第2回看護能力再開発講習会

- ☆期間 11月17日～19日、25日～27日（6日間）
- ☆対象 保健婦（士）・助産婦・看護婦（士）・准看護婦（士）の免許所有者で就業していない人
- ☆募集人員 30人
- ☆受講料 無料（ただし諸経費は実費）

■在宅保健技術者研修会

- ☆期間 12月4日～8日・17日、平成10年1月14日・27日（6日間）
- ☆対象 市町村の地域保健事業に従事することを希望する在宅保健婦および在宅看護婦
- ☆募集人員 30人
- ☆受講料 無料（ただしテキスト代5,300円、諸経費は実費）

いずれの講座も

- 会場 山口県看護研修会館（防府市大字上右田）
- 講習日 期間中の月～金曜日、午前9時～午後6時
- 申込期限 11月10日
- 申し込み
 - （社）山口県看護協会内 山口県ナースセンター（〒747防府市大字上右田字須崎2686 ☎0835-24-5791）へ



11月の不燃物収集

4日（火）	仁保
5日（水）	吉敷
6日（木）	下金古曾・上金古曾・八幡馬場
7日（金）	大歳
10日（月）	小鯖
11日（火）	嘉川
12日（水）	石観音・道祖町・堂の前・上堅小路・下堅上・下堅中下・上古熊・古熊・木町・大市諸願・天花畑・天花・太刀売・円政寺
13日（木）	陶・鑄銭司
14日（金）	佐山
17日（月）	名田島・秋穂二島
18日（火）	（上・中・下）後河原・野田・大殿大路・西滝・東滝・中市・中河原・久保小路・新馬場・松の木町・米屋町・今小路・新天街・新丁・新道・早間田・新町
19日（水）	宮野
20日（木）	（上・中・下）道場門前・鰐石・今市・今道・大附・西惣太夫・東惣太夫・東白石・西白石・東糸米・西糸米・天神通り・田町
21日（金）	大内
25日（火）	（上・中・下）清水・三和町・中讃井・竜王町・荒高・熊野
26日（水）	平川
27日（木）	元町西・元町・一本松
28日（金）	朝倉中央通り・東朝倉・西朝倉・前町・角下市町

一日合同
法律相談

- 日時 10月29日（水）午前10時半～午後4時（法律相談は午後1時から）
- 場所 市民会館小ホール
- 料金 無料
- 相談担当者 法務局・国税局税務相談室山口分室・労働基準局・消費生活センター・
- 問い合わせ 山口行政監 察事務所行政相談課（☎32-1100）・市広報広聴課（☎22-4111）
- 市民相談室（☎22-4111）
- 社会保険事務所・土木建築事務所・人権擁護委員・行政相談委員・弁護士・山口市・行政監事務所

編集後記

▽四季咲き桜の花がチラホラと咲いています。その下に肥料と落穂をまいたら「キジ」がキキキと鳴き、遊びに来てうれしくなった。▽十月は神無月ともいう。全国の神様が出雲の国にお帰りになり、全国大会で議論とのこと。神頼みの願い事は、出雲まで行くか？▽お気軽講座、通称「出前講座」の開設。十一月一日からの講義に各課長級がスタンバイ。これと平行して全職員の広聴モニター制度、通称「ご用聞き」。どちらもお気軽にご利用、ご相談ください。

健康コーナー

胃がん集団検診

- 期日・場所 11月4日（火）山口南総合センター／11月5日（水）市保健センター
- 受付時間 午前8時30分～9時30分
- 対象 40歳以上の市民の方
- 料金 700円
- ※70歳以上、生活保護、市民税非課税世帯（全ての世帯員が市民税を課税されていない場合）の方は、料金が無料となります。検診時に申し出てください。
- 申し込み 市保健センター（☎21-2666）へ
- ※当日は朝食・たばこ・水・茶・薬など一切口にしないでください。
- ※今年度最後の胃がん検診です。まだの方は、忘れずに受診しましょう。

糖尿病予防教室

- 場所 市保健センター（糸米二丁目6-6）
- 対象 基本健康診査の結果、血糖値が高いと高いと言われた方（治療中は除く）、または糖尿病予防に関心のある方
- 募集人員 30人（先着順）
- 受講料 無料
- 申し込み 10月24日までに、市保健センター（☎21-2666）へ

期 日	内 容	講 師
11/4 (火)	糖尿病予防について	山口赤十字病院 第4内科部長 古賀龍彦先生
11/12 (水)	糖尿病を予防するための食事について	山口赤十字病院 栄養係長 野崎あけみ先生
11/14 (金)	糖尿病を予防するために～自分の体を知ろう～	市健康増進課 保健婦
11/21 (金)	糖尿病予防と運動について	市健康増進課 保健婦

※当日は、必ず上履きを持参してください。

※申し込み
ドッジボール大会については、11月7日まではがきまたは電話でチーム名・参加者氏名・年齢・代表者の住所・電話番号を市児童家庭課（亀山町2-1 ☎22-4111）へ

お知らせ

10月1日号市報やまぐち「女性のためのヘルスアップセミナー」の記事中、開催場所が記載されていませんでした。

会場は山口南総合センター（名田島1218-1）です。

催し物とお知らせ

シルバー人材センター
入会説明会

- 日時 10月21日（火）午後2時から（1時間程度）
- 場所 場所 山口しあわせプラザ（上堅小路891-）
- 内容 ビデオ上映、入会手続きの説明など
- 対象 市内在住でおおむね60歳以上の健康な方
- 問い合わせ (社)山口市シルバー人材センター（☎24-5396）へ

小型ボイラー取扱業務
特別教育開催

- 日時・場所
- ・10月30日（木）午前9時～午後5時／石田屋（小郡駅新幹線口）
 - ・10月31日（金）午前9時～午後1時／第一産業株式会社（防府市三田尻）
- 受講料 日本ボイラ協会会員8,000円、非会員10,000円
- テキスト代 700円
- 申し込み 申込書に受講料を添えて、10月24日までに(社)日本ボイラ協会山口支部（〒745徳山市千代田町6-3／愛徳ビル3階 ☎0834-32-2942）へ

10月は 労働保険適用促進月間です

事業主のみなさん、労働保険の加入手続きはお済みですか？ 労働保険は職場のみなさんが安心して働けるためのものです。個人、法人を問わず従業員を1人でも雇っていただければ、労働保険に加入しましょう。

◎詳しくは、ハローワーク山口（☎22-0043）へ

公共下水道排水設備工事
配管工講習会のお知らせ

- 期日 11月22日（土）・30日（日）のいずれか
- 場所 市役所3階大会議室
- 対象
- ・新規に資格を取得される方
 - ・すでに登録され更新される方（排水設備工事責任技術者の資格を持っている方は、配管工の資格があるものとする）
- 申し込み 10月22日～11月7日の間に、市下水道管理課（☎22-4111）へ

～共に生きる～異文化との
融合（シンポジウム）

サビエル記念聖堂設計者を囲んで

- 日時 11月9日（日）午後1時～
- 場所 山口県立図書館レクチャールーム
- 内容 再建中のサビエル記念聖堂をキーワードに、語り合う
- 募集人員 290人
- 参加料 無料
- 申し込み はがきまたはファクスに住所・氏名・電話番号を記入し、10月25日までに下記へ
- 〒753 山口市古熊二丁目8-2
国際交流くらぶ 榎本みわこ
(TEL兼FAX/24-9219)

ふれあい広場「日曜朝市」

- 日時 10月26日（日）午前6時30分から2時間程度の予定
- 場所 パークロード・県立美術館前（歩道内）
- 出品物 野菜、くだもの、海産物、加工品、花類など
- 問い合わせ 市生活環境課（☎22-4111）へ

第5回

みんなおいでよ

親子ふれあい
ジャンボリ

- 日時 11月22日（土）午前10時～午後2時30分
- 場所 山口県スポーツ文化センター
- 内容

★一般募集

ドッジボール大会（6人編成）幼稚園・保育園の部／小学生の部（小学1年～3年生）／一般の部（小学4年生～大人）

★当日募集

ぞうきんがけリレー、各種ゲーム

★そのほか

幼稚園・保育園の絵画展示、バザー

○申し込み

ドッジボール大会については、

11月7日まではがきまたは

電話でチーム名・参加者氏

名・年齢・代表者の住所・電

話番号を市児童家庭課（亀山

町2-1 ☎22-4111）へ

※当日は、必ず上履きを持参して

ください。

